



からしだねの由来 マタイ 13章 31節、マルコ 4章 30節、ルカ 13章 18節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第392号

「聖書に親しむ会」

教会内には、有志が集まったり聖書の分かち合いや解説書を用いて深める集いがいくつかあります。の中で、先日、「聖書100週間」が全日程を終えたのを機に司祭も同席する一つの集まりとして呼びかけを行うことを小教区委員会で確認いたしました。

水巻教会にはこれまで主任司祭や信徒の働きかけによっていくつかの集まりが行われてきましたが、「聖書100週間」においては前任のマヘル神父さまのあと、主任司祭が不在となったのを受け、青木神父さま、現主任の谷口神父の了解のもとでベリオン神父さまに依頼して進められました。先日の1月15日(水)に全日程を終えたので、これを機にほかの集まりにも呼びかけ、主任司祭も共に参加する聖書の集まりを持つことになったわけです。

これまで行われてきた集まりを強制的に主任司祭のもとにひとまとめにすることが目的ではなく、あらためて信徒が聖書に触れ、聖書のことに動かされ、その動かされる信徒の思いに触れることで、教会として信仰を深める機会を提供できればとの思いがあります。しかし、主任司祭も様々な集まりに顔を出すことが難しいため、毎週木曜日の午前中に行うことにさせていただきました。ご理解いただければ幸いです。最初の集まりは2月6日(木)の

午前10時からです。はじめは毎週木曜日の午前中に行うこととなりますが、要望があれば、たとえば同じ集まりを他の曜日や午前中ではなく、夕方以降にも行えるように調整していきたいと思っています。

分かち合いが中心となりますので、毎回、指定しておいた聖書の箇所を読み、分かち合いたいことをまとめておく必要がありますが、毎回、短い文となりますので、どうぞ気軽にお集まり下さい。分かち合う聖書の箇所はその週のお知らせに載せますので、ご確認ください。

はい！わたしはここにあります！・・・2面
知恵と洞察力・・・・・・・・・・3面
特集・長崎教皇ミサ・・・・・・・・4・5面
ガンバ2・・・・・・・・・・6面
教会学校より・・・・・・・・・・7面
幼稚園から・・・・・・・・・・8面
委員会報告・・・・・・・・・・9面
お知らせ・一日黙想会のお誘い・・・10面

はい！わたしはここにおります！

谷口 尚志神父

多くの方に支えられ、感謝の気持ちで迎えることができた2020年。早くも一ヶ月が過ぎ、四旬節を前にして、あらためて昨年12月末に行われた韓国の大邱(テグ)大司教区での助祭・司祭叙階式のことを思い出します。

12月27日の午前10時からカテドラル(司教座聖堂)で行われた叙階式には約8000人が集まり、助祭と司祭の誕生を喜び祝いました。3時間を超えるミサは聖書朗読、聖歌、沈黙の時間、信徒の応答、司教による按手と聖別の言葉などがすべて共鳴しあった素晴らしいものでした。言語、文化や習慣などは異なるけれど、同じ信仰を持つ者同士としてつながっているという実感は大きな喜びを伴うものです。教会が普遍的な存在(いつの時代も、どの民族、どの国においても普遍、唯一)であることをも実感することができました。聖なるものであり、普遍的な、使徒継承による唯一の教会は2000年の歩みのなかで「分裂」という大きな傷を背負って今日に至っていますが、この叙階式に参加し、あらためて教会が一致して未来へ歩みを進めなければならないという思いを持つに至りました。日本と韓国が向き合うべき課題をも認識しつつ。

今回の叙階式で10名の新司祭と7名の新助祭が誕生し、新助祭となったうちの一名が長崎大司教区に派遣され、一名がわたしたちの福岡教区に派遣されています。

さて、皆さんは叙階式のはじめに何があるかご存知でしょうか。式に参列したことのある方は思い出してみてください。そう、名前の呼び出しが行われるのです。

「叙階を受ける者は前に進み出て下さい。(霊名)〇〇〇、〇〇〇さん。」「はい！わたしはここにおります！」

実はこの言葉、預言者サムエルが神から招きを受けた時に返した言葉なのです(サムエル記上3章を参照)。サムエルは後にダビデ王を見出すという重要な役割を担うことになります。

わたしたちは人生を送るうえで常に神からの招きを受けています。どんな言葉が向けられているかは分かりません。サムエルもはじめは気付きませんでした。けれども、神からの招きだと確信したサムエルは「はい！わたしはここにおります！」と答え、神の導きに身を委ねました。叙階を受けた者だけでなく、教会として歩むすべての人がサムエルのように神の招きを確認し、答えて生きるよう招かれています。四旬節を迎える前に、同じ決意をもって歩いていくことができますように。

活水²

知恵と洞察力

遠賀地区 福嶋 東三子

(新しい朝を迎えさせてくださった神よ、今日一日私を照らし導いて下さい。自分のしたい事ばかりでなく、あなたの望まれることを行い、周りの人達の事を考えて生きる喜びを見出させてください。アーメン) ベッドの上での祈りから私の一日は始まります。

水巻教会に通い始めた時、隣りで一緒に歌ってくださる俵さんが、ご自分のカトリック手帳の後部にあるページを引きちぎって私に下さった「日々の祈り」から一番に暗記したものです。朝陽を浴びながら机に向かい、今週の聖書朗読を読みます。(天の父なる神様、今日もみことばを頂き、聖霊と共に豊かな一日でありますように、アーメン)

ある日、シラ書によって「人間の知恵の本性」についてのみことばをいただきました。日頃から私は鋭い(?)洞察力で、人の考えや行動を察知して、ズバっと言い当てる事があります。それが時に人を傷つけ疎まれる事もあり、物事の本質を知らされて感謝される時もあります。これは自分に与えられた特別の能力なんだと錯覚していました。しかしこのシラ書の言葉にあるように、この洞察力は個人の特別な能力ではなく神ご自身が被造物全てにお与えになっていたのです。1章4節に「知恵は万物に先立って造られ、洞察する知性は永遠から存在する」と有るのです。誰もが人と対話する時に相手の顔、目を見て話します。真実か嘘偽りが無いかを考えながら話しています。誰にでも与えられている洞察力は、良心に背いている人の定まらない目の動きに気がつきます。

8節「もっとも畏るべき方は、ただ一人。その方は玉座に座っておられる」のです。

神様の目は隠した(と思っている)事実も全てご存知なのです! 日本語はこれを難しい言葉「^{てんちうかいがいそ}天網恢々疎にしてもらさず」(中国の哲学者、老子の言葉)と言い表しています。

日本語といえば、先日地域のボランティア団体で政治学を学ぶ機会がありました。九州大学の政治学教授が講義冒頭にお話しされた事はとても心に残るものでした。「日本の語彙(ボキャブラリー)は非常に多く、物事や心情を表すことに優れている。鎖国が解かれた明治時代の翻訳者によって多くの外国文学書、専門書が日本語に訳された事で、日本の学生は日本語で学ぶことができる。外国の大学の多くは語彙が少ない母国語を使わず共通用語としての英語で講義されているから」と。

数千年前に預言者やイエス様を通して語られた「神のみ言葉」が記録され、書物となった聖書も、多くの先達によって日本語に翻訳されています。そのお陰で日々の聖書朗読ができる事を思う時に、先人の知恵と洞察力に新たな尊敬と感謝の想いが湧いてきます。誇るべき日本人の知恵も神様がくださったもののなのです。

神様が私達一人一人に与えてくださっている知恵と洞察力に気がついて、隣人(私のそばに居る)が求める優しい言葉や、親切な態度を、惜しみなく愛を込めて行いましょう!

特集

“長崎の教皇ミサ”

信仰告白を再び!

福嶋東三子

2019年11月24日。この日の御ミサは、長崎県営野球場において、フランシスコ教皇様による特別の御ミサ。

3万人がこの時、心を一つにして祈り、歌い、御聖体を頂く奇跡を現実の出来事として心に焼き付けておこう。前夜から雨模様の予告に雨具を準備した。内心、絶対に晴れる!と確信していた。(信仰とは未だ見ていないものを信じる事)

ところが長崎道に入るとバスのフロントガラスに雨の粒。ワイパーが動き出す。パーキングエリアでは黒い空を稲妻が縦に裂け、雷が轟いた。絶望的な迷いが心を支配し始めた。

♪輝く陽を仰ぐとき、月星ながむるとき、いかづち(雷)鳴り渡るとき まことの御神を思う 我が魂いま讃えよ 大いなる御神を～♪の歌詞がメロディが脳裏に浮かぶ。

到着した平和公園では雨脚も酷くなり、地面も雨でぬかるみ、傘が禁じられているため雨合羽で身を覆う人の群れが入場口に続いた。秩序を守り平和を願う人達に対して嚴重過ぎるセキュリティには違和感すら覚えたが、高齢の教皇様はこの旅に命を賭して来られている事を思うと、最大の防備でもって御守りしなくては～という気持ちも理解できる。グランドの入口に立つ若い警察官に労いの言葉をかける(雨の中を大変ですね、上がると良いね。きっと晴れるよ)と。彼の硬い表情の顔に微笑みが戻った。



グランドのフィールドにブルーシートが敷かれ、並べられた椅子の下にも雨が溜まっていた。雨合羽のまま座して待つ。程なく雨は上がって西の空から青空が見えてきた。信徒の祈りは神に届いたと誰もが思った瞬間。やがて各地区から来られた白い衣の司祭、神父様達が前列の席に進まれる行列が始まる。「聖者の行進」その数おおよそ100数名。我が教会二代前のマヘル神父が前を通過されるときには皆が大声を上げて名前を呼んだ。それに応えて満面の笑顔で手を振られた。

やがて教皇様が大歓声湧き上がる中に到着された時には、太陽は眩しく上空に有った。特別仕様の電動カーに乗られて、白い衣の教皇様は手を振りながら会場を一周された。何という優しさ。どよめきが起こり、大型ビジョンに映し出される教皇様は赤ん坊にキスをされた!次々に差し出される赤子にキスをされる教皇様。神々しいまでのお姿、溢れる愛に涙が溢れた。静かにゆっくりと語られる言葉は、信徒への語りかけ、覚悟を問われます。

主が十字架上でなおも受けられる侮辱や嘲笑の中で真実を見ていた隣の盗人の言葉、「御国に行かれたら私を思い出してください」という信仰告白を「今日あなたは私と共に

にパラダイスにいるだろう」とハッキリとお応えになった。私達もこの盗人の信仰告白に見倣い、教皇様のキリストを生きる生き様に見倣い、日々信仰の灯を灯し続けたいと決意を新たにした1日。

世界の平和の為に、私達がなすべき事をこれほどまでに簡潔に世界中の人々にメッセージされた指導者は今まで一人も居なかった。人間の果てしない欲望によって私達の住む星、地球の破壊が進んでいる今日、神の示される「秩序」にもう一度立ち返る事を。

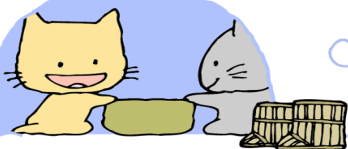


イエスのカリタス修道女会 リマの聖女ローザ準管区より

2019年12月25日

主のご降誕と新年のお喜びを申し上げます。神の恵みと皆様のご厚情に心より感謝いたします！2020年が希望に満ちた一年で幼子イエスの平和がいつも共にありますように！（管区長 シスターテレジア川端）

今年は皆様にお会いできてとてもうれしかったです。皆様の温かいお心に支えられ2020年もペルーで神様の愛を伝えていきます。豊かな恵みがありますように！（Sr マリー中村英子）





冠婚葬祭委員会の活動

田中敏幸

冠婚葬祭委員会のメンバーは現在 21 名。委員長を田中敏幸(高須・青葉)、サブを田中禮子さん(折尾)にお願いしています。

主な活動は葬儀です。

1. 神父様より電話で連絡があり、〇〇時に教会に集合します。
2. 父様、遺族、メンバー2人、葬儀社の方が集まり、通夜、葬儀の場所、時間を決めます。
3. 遺族の方に「カトリック水巻教会の葬儀、通夜規則」を渡し「通夜、葬儀のしおり」で式次第を説明、葬儀での聖書朗読1人共同祈願2人をお願いし、通夜、葬儀の遺族代表を決めていただきます。
4. 葬儀社の方には、祭壇に飾る生け花を置く場所は、祭壇の幅より短く、生花の高さは祭壇の高さより低く、生花スタンドは教会外に置くようお願いしています。
5. 葬儀での受付は必要か否かを確認、適任者がいない場合は、遺族の方の地区の人に依頼します。
6. 通夜、葬儀の場所、時間を総務の馬込さん、侍者のお手伝いをしてきている安永さんに、田中禮子さんがFAXで連絡します。
7. 通夜、葬儀の場所、時間を地区委員に2人で電話連絡します。
8. 通夜、葬儀の時のオルガン奏者・橋本さん(赤間)、三谷さん(赤間)に電話連絡を私がして、2人とも不在の時はアカペラで行います。
9. 通夜の司会は私か、葬儀の司会は松尾隆さん(遠賀)にいつもお願いしています。
10. 結婚式は、神父様から電話連絡があり、田中禮子さんに「お花を生ける会」の代表者に連絡してもらっています。

2019年は、葬儀が6件、結婚式が2件ありました。最近、葬儀の時の参加者が少なくなってきました。地区の方が亡くなった時は、通夜、葬儀への参加ご協力をお願いします。

次号は「納骨堂委員会」にバトンタッチ





教会学校のページ



2020年新年の始まりとともに教会学校も、本年度の最終学期のお勉強がスタートしました。7名の子ども達が、今年初めての教会学校に元気に出席してくれました。改めて感謝の気持ちでいっぱいです。教会に子どもの姿が見えなくなったと言われて久しくなりますが、水巻教会においては本年度4名の子ども達が新たに加わり、定期的に御ミサ、教会学校に来てくれています。子ども達の頑張り、また保護者の皆様の信仰とご協力に私たちスタッフも励まされています。谷口神父様の先導により、教会学校にも活気があふれ楽しみながら学ぶ機会を作って頂きました。子ども達が自然な形で信仰へのアプローチが出来たように思います。今年は6月に5名の女の子の初聖体式が予定されています。また、従来通りのイベントや他教会と共同での行事などを、神様の御心に沿うかたちで子ども達の笑顔とともに頑張っていきたいと思います。本年もどうぞ皆さま
 よろしくお願ひいたします。



クリスマス共同祈願

教会に光と希望を運んでくれる子供たちの存在に感謝します。全ての子ども達がどんな時も、イエス様から見守られ、愛されていることを実感し日々を安心して過ごすことができますように。苦しい境遇の中にあってもお恵みのうちに生きることができるよう、私たちも神様とともに深く心を寄せて行くことができますように。



クリスマス会
 平田凌愛(ひらたりな)
 小三
 十二月二十二日教会学校のみんなとしん父様、リーダーたちとクリスマスパーティをしました。場所はしさい館でした。みんなであげや、おにぎり、クリスマスツリーのサラダなどたくさん食べました。ケーキがとどくまでおかしや、カードゲームをしながら待っていました。ケーキはしん父様が2つも用意してくれて、わたしはチョコレートケーキを食べました。ローソクに火をつけたん生日の歌でイエス様のおいおいをして、使と信じようとなえて終わりました。とても楽しかったので、また来年もしたいです。



水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 2月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

<水巻聖母幼稚園>

1月11日(土)に、お餅つきを行いました。子ども達は、お餅の作り方や使われる道具を知る事が出来ました。実際にもち米を見て、「ここからどうやって美味しいお餅になるんだろう」と、わくわくしていました。杵で一生懸命にもち米をついて、おもちを丸めるのもとても楽しそうでした。出来上がったきなこ餅も柔らかくて、みんなで美味しく頂きました。

谷口尚志神父様をはじめ、前日から準備をしてくださった役員の皆様、当日お手伝いに来てくださった保護者の皆様 有難うございました。



【豆まき】

2月3日(月) 10:30 より

未就園児のお友達、お待ちしております。(要予約)

水巻聖母幼稚園 Tel : 093 201 9559

e-mail: contactus@mizumakiseibo.ed.jp

<マリア子どもの家>

年末年始のお休みが終わり、子ども達は、保育園では出来ない経験をたくさんリュックに入れて、一回り大きくなって返って来ました。少し保育園の生活を忘れかけていた人もいましたが、早速お仕事をしたり、ヨーイドンで園庭を何周も走ったり、砂場でままごとをしたり、ベランダでハッピージャムジャム体操や雑巾がけをしたり……遊ぶのにカー杯でした。今年も、色々な事をして、たくさん遊びましょう。



Tel : 050 5212 7759

HP : 水巻町マリア子どもの家

水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

園長 シスター松川明子・職員一同

委員会等報告

2020年1月分

1 月度小教区委員会 1月12日

1. 行事予定

- ・2月2日(日) 小教区委員会
- ・2月9日(日) 四旬節の手紙配布
- ・2月14日(金) ホームレス炊き出し
役員会 19:00-
- ・2月16日(日) 四旬節の手紙郵送
- ・2月22日(土) レプトン会黙想会
10:00~15:00
山元眞神父様「教皇様同行記」
- ・2月23日(日) エリック神父様
ミサ司式、ミサ後、茶話会
- ・2月26日(水) 灰の水曜日
午前 9:30~、午後 7:30~
- ・3月1日(日) 小教区委員会
- ・3月8日(日) 黙想会
講師：大分教区の崔在景神父様
- ・3月13日(金) 共同回心式
午前 10:00~、午後 7:30~
- ・3月20日(金) 役員会 19:00-
- ・4月5日(日) 小教区委員会
- ・4月9日(木) 聖木曜日 19:30~
- ・4月10日(金) 聖金曜日 19:30~
- ・4月11日(土) 聖土曜日 19:30~
- ・4月12日(日) 復活の主日 10:00~
ミサ後茶話会

2. 議題

(1) 各委員会報告

① 広報委員会より

● 2月のからしだね記事について

- ・教皇様の記事の特集予定

② 典礼委員会より

- ・1月30日 典礼委員会
四旬節の準備

③ 納骨堂委員会より

- ・片岡さん納骨式(1月12日)

④ 営繕委員会より

● 印刷機の調子復活。

- ・ただし、老朽化は顕著。今後を見据えてどうするか検討する。

- ・取替見積取得

新規交換の場合：886千円/5年

リースの場合：944千円/5年

(2) 教皇様のメッセージを受けて

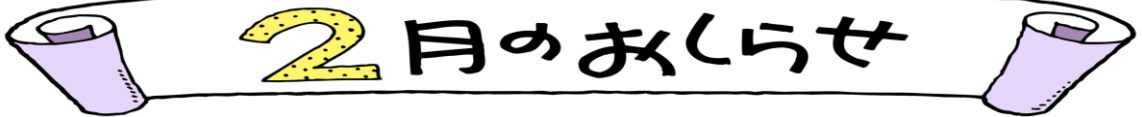
- ・福岡教区信徒協主催 講演会
タイトル「これからどうする」
3月1日(日) 14:00~16:00
山本眞神父様 大名町教会にて

(3) 水巻小教区 聖書勉強会発足

- ・信徒有志による聖書勉強会がいくつかあるが、小教区としての勉強会がないので2月よりスタートする。

グループ名：聖書に親しむ会

日時：毎週木曜日 10:00~12:00



★灰の水曜日★

日 時：2月26日(水)

午前9時30分～、午後7時30分～

※この日は、大斎・小斎です。

★エリック神父様 ミサ司式★

日 時：2月23日(日)

場 所：水巻教会

平成 26 年に神学生として水巻教会に来られていたエリック神父様が、神父になって初めて水巻教会に来られてミサを捧げます。

ミサ後は、茶話会を行います。エリック神父様と一緒に語らいましょう。

エリック神父様が、水巻教会に来られた時の自己紹介記事が、ホームページの過去のからしだね 2014 年 5 月に載っています。是非、ご覧になってください。

★ホームレス支援炊き出し★

日 時：2月14日(金) 10時～

場 所：水巻教会 信徒会館

たくさんの方のご協力をお願いします。詳しくは、教会のお知らせをご覧ください。

★レプトン会より★

トラピストクッキーとミサワインの収益は 30,299 円、特別寄付 5,950 円でした。皆様のご協力に感謝いたします。

ペルーの子ども食堂支援金 320,000 円(2020 年度分)を送金しました。

また、クリスマス 24 日、25 日のコーヒーはペルーからの贈り物でした。おいしかったですね。

一日黙想会のお誘い

テーマ「キリスト教の信者を増やすためにイエスを伝えているのではない。生きる力を伝えたい」(フランシスコ教皇の言葉)

指導司祭：山元眞神父(訪日教皇同行・バチカン公認のメディア担当者)

～楽しい「うらばなし」をお聞きしたいですね～

日 時：2020 年 2 月 22 日(土) 10:00～15:00

場 所：カトリック水巻教会

費 用：500 円(弁当代)

プログラム	10:00～12:00	講話 1
	12:00～12:50	昼食
	12:50～14:10	講話 2
	14:10～15:00	ミサ

